

宮城県感染症発生動向調査情報(第14週)

宮城県【平成27年04月09日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.3.30 ~ 4.5 ・ 第14週 —

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第11週	第12週	第13週	第14週
水痘	4 0.67	5 0.50	4 0.80		3 1.00	2 0.40	1 0.50	21 0.78	40 0.68	574	○→	○→	○→	レ
流行性耳下腺炎			1 0.20					3 0.11	4 0.07	98	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	27 4.50	36 3.60	29 5.80	14 7.00	25 8.33	32 6.40	18 9.00	142 5.26	323 5.47	7,904	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	7 1.17	1 0.10						8 0.30	16 0.27	159	→	→	○→	レ
伝染性紅斑	2 0.33	7 0.70	5 1.00		1 0.33	3 0.60	1 0.50	19 0.70	38 0.64	721	○→	○→	○→	レ
突発性発しん	1 0.17	7 0.70	3 0.60		3 1.00		3 1.50	17 0.63	34 0.58	397	○→	○→	○→	レ
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	21 2.33	55 3.67	21 2.63	2 0.67	3 0.60	44 4.89	18 4.50	47 1.07	211 2.22	18,756	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	1 0.17	4 0.40		1 0.50	1 0.33			10 0.37	17 0.29	203	→	○→	レ→	
流行性角結膜炎		3 1.00	1 1.00					2 0.33	6 0.50	36	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20 3.33	12 1.20	9 1.80		1 0.33	15 3.00		39 1.44	96 1.63	2,023	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				2 2.00	1 1.00		2 2.00	1 0.20	6 0.50	105	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10						3 0.11	4 0.07	304	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			3				3			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										《週報の詳報》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html			
	不明発疹症													
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※						3	2		5	107				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第12週		17.7	37.0	24.0	2.8	1.9	3.3	3.9	3.6	3.0	1.1	1.7	362
第13週		13.3	36.5	24.7	3.3	1.1	6.3	6.3	2.2	2.2	1.5	2.6	271
第14週		19.9	33.2	12.8	3.3	3.3	6.6	12.3	3.3	2.4	0.9	1.9	211

インフルエンザ定点
小児科定点と内科定点を合わせたもので、2015.4.1から県全体で95定点(県:51、仙台市:44)となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第12週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では高知県(11.29)、大分県(7.78)、沖縄県(7.22)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は203例と前週と比較して減少した。RSウイルス感染症: 報告数は1,043例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では石川県(7.07)、鳥取県(6.47)、山形県(6.13)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(18.42)、福岡県(12.97)、佐賀県(12.00)が多い。水痘: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(1.14)、山形県(1.03)、沖縄県(0.94)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(1.94)、島根県(1.83)、福井県(1.14)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は第9週以降増加が続いている。都道府県別では石川県(1.10)、東京都(0.86)、埼玉県(0.83)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(1.60)、石川県(1.60)、宮城県(1.17)、佐賀県(0.67)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は増加した。43都道府県から236例報告があり、年齢別では0歳(32例)、1~4歳(163例)、5~9歳(30例)、10代(2例)、20代(3例)、30代(3例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 大崎管内 男性1名(第12週)、男性1名(第13週)、男性2名、女性2名
 - 登米管内 女性2名
 - 仙台管内 男性3名、女性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 女性1名
- 5類感染症: 水痘(入院例)
 - 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 5例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[伝染性紅斑]
大崎管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体	第13週採取分	インフルエンザウイルスAH3	1件
登米管内	第13週採取分		

～仙台医療センターウイルスセンター～

病原体	第12週採取分 (3.16~3.22)	第13週採取分 (3.23~3.29)	第14週採取分 (3.30~4.5)
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	4件	0件	0件
RSウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	0件	2件	0件

[感染性胃腸炎]

ロタウイルスによる感染性胃腸炎の患者報告数は、全国的に増加傾向にあります。県全体の患者報告数は減少傾向ですが、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告がみられます。ロタウイルスは、乳幼児を中心に3月~5月に流行がみられますので、引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。